

# 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立逢坂小学校

## ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【結果について】

### 《概要》

国語科は基本・活用ともおおむね良好な結果となりました。特に活用においては「書くこと」が一番の強みになっています。算数科は活用で良好な結果となりました。理科はおおむね良好な結果となりました。本校の全体的な傾向として本年度は全国と同じくらいの正答率となっています。加えて得意な領域と苦手な領域があることがわかります。

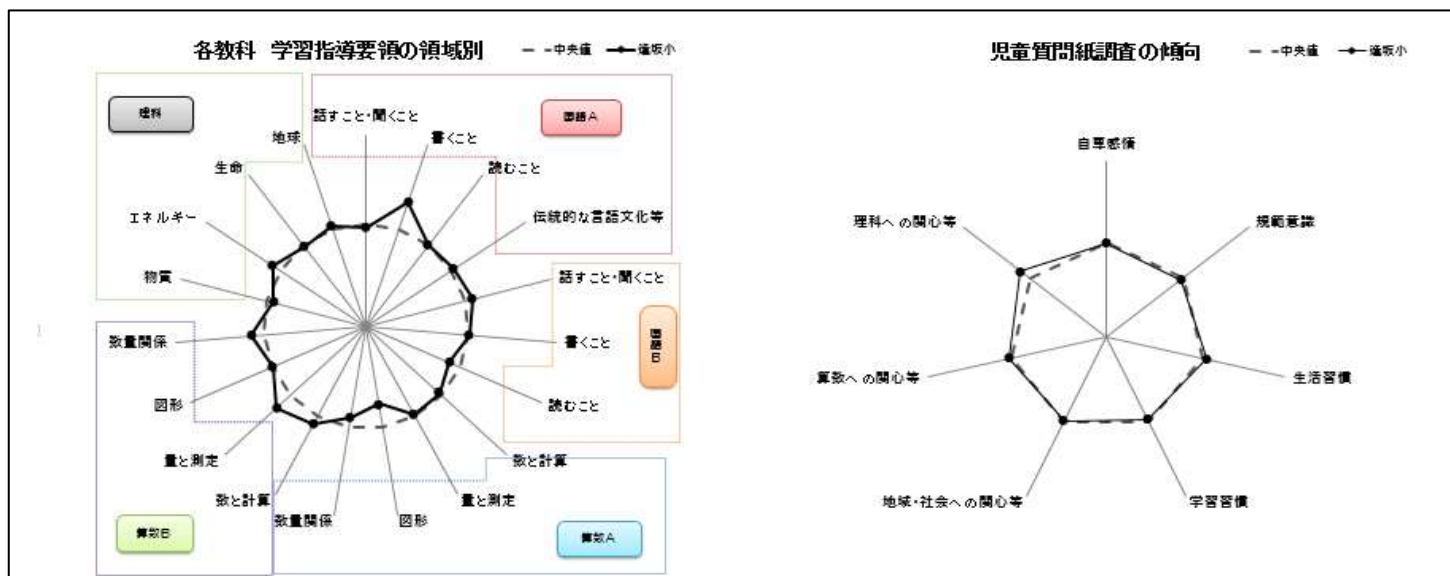
### 《強み・弱み》

今年度、国語は良好な結果でした。特に「書くこと」の領域が一番の強みになっています。これは、書く力をつけることを目標に全校でモジュール学習等、様々な学習の取組の成果であると考えます。算数科では「活用」において強みが見られました。特に「量と測定」に強みが見られました。反対に昨年同様「図形」に課題が見られました。理科もおおむね良好で、中でも教科への関心が高く見られます。

児童質問紙ではどの項目も良好でした。今後は自尊感情や規範意識をさらに高める必要があると思われます。

## ◇強み・弱みレーダーチャート◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しました。

破線はポイント差の中央値を表しています。破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

## 【指導の充実に向けて】

- 全ての教科において低学年から高学年への系統性を重視します。
- 主体的・対話的で深い学びができるような課題の設定・協働的な学習の場の保障をおこない「何を学んだか」ということとともに「どのように学んだか」も大切にして学びを生かせる21世紀型の学力を育てていきます。
- 条件や場に応じた文章を書く力や図やグラフ・式などを使って考えを表現する力の育成に努めます。
- 基礎基本の充実を図るためにこれまでの取組を継続・発展させていきます。